



いずみさの

No.186
2023.8.1

市議会だより



New Topics

施政方針に対する質問を行いました
市内のプール整備が完了しました
市長選挙後の補正予算を可決しました

目次

- ◆6月定例会の結果報告…………… 2～5
- ◆施政方針に対する質問…………… 5～10
- ◆ご案内…………… 10

本会議・委員会をインターネットで配信しています。 [泉佐野市議会](#)

[検索](#)



6月定例会議を開催

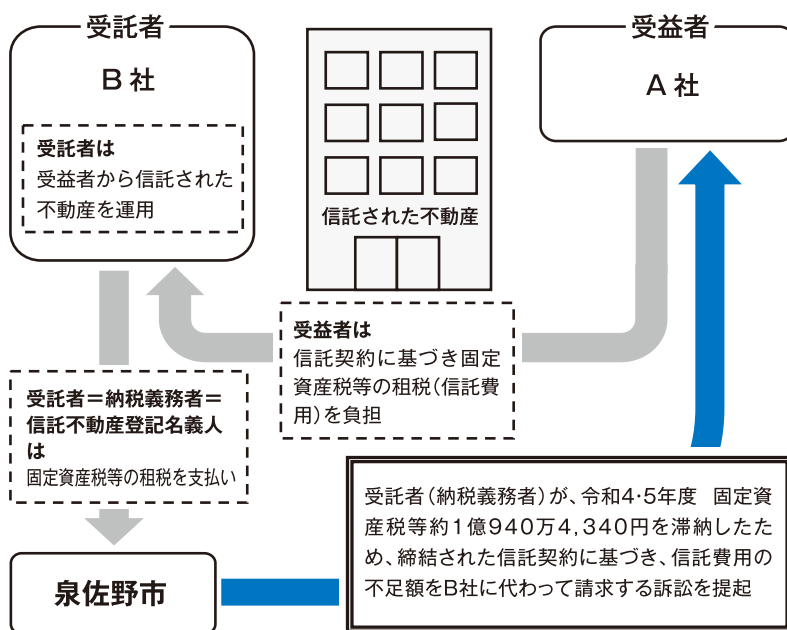
議案
第32号

信託費用請求事件の訴えの提起について

可決
全会一致

信託財産の受益者（A社）が、納税義務者である受託者（B社）に対し、信託契約に基づき負担すべき信託費用である令和4・5年度の未納固定資産税・都市計画税相当額1億940万4,340円について、市が受託者に代位して信託費用請求の訴えの提起をする議案です。

訴えを起こすまでの経緯や状況について、多くの議員から質問がありました。



議案
第37号

泉佐野市営プール条例の一部を改正する条例制定について

可決
全会一致

プール整備事業の最後となる新たに整備された泉佐野市立長南小学校プールを加える条例改正の議案です。

議案
第38号

泉佐野市立長南小学校プールの指定管理者の指定について

可決
全会一致

新たに整備された当該プールの指定管理者を指定する議案です。これで平成28年度から始まった市内全小・中学校並びに周辺におけるプール整備が完了し、全17施設となりました。

指定管理者 楠開発株式会社

期 間 令和5年7月1日から令和7年3月31日まで



エネルギー・物価高騰対策による継続事業を中心に、市民のために必要な生活環境の整備、地域経済の活力、教育環境を重点に配分しました。また、投資的経費は、継続事業や防災等の緊急性の高い事業に。そして引き続き行財政改革に取り組み、地方債残高の減少、財政基盤の安定化を図る予算編成になっています。

主な施策として「活力・賑わい」では、若年者世帯及び子育て世帯に対して既存(中古)住宅取得費用の一部を補助。「子育て・教育」では、小中学校での英語力向上の取組みとして、小学校ではALT(外国語指導助手)を増員、中学校ではAIによる英語学習アプリの導入。また、小学校給食の自校方式による給食調理室を建設する為の事前調査経費。「支え合い・福祉・健康」では、健康マイレージのアプリ導入と地域ポイント「さのぼ」付与の拡充。介護等の従事者に地域ポイント「さのぼ」を付与。「安心・防災・環境」では、間伐材を活用し、温室効果ガス排出を抑制するため、木質バイオマス発電施設の整備等を組み入れた予算が計上されています。

議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第28号	工事請負契約締結について 上田ヶ丘団地住宅(1~17棟)建替工事について工事請負契約の締結をする議案。
議案第29号	工事請負契約締結について 上田ヶ丘団地住宅(1~17棟)建替電気設備工事について工事請負契約の締結をする議案。
議案第30号	工事請負契約締結について 上田ヶ丘団地住宅(1~17棟)建替機械設備工事について工事請負契約の締結をする議案。
議案第31号	工事請負契約締結について 鶴原団地住宅(8~15棟)解体工事について工事請負契約の締結をする議案。
議案第33号	泉佐野市市税条例の一部を改正する条例制定について
選挙第4号	選挙管理委員及び補充員の選挙について 選挙管理委員に古谷 伊久雄さん、豊田 裕義さん、田村 博さん、向井 清人さん、補充員に脇田 拓也さん、土原 こずえさん、角 竜一さん、藪木 正純さんがそれぞれ当選しました。
議案第41号	人権擁護委員候補者推薦についての意見を求めることについて 鈴木 一さん、家路 博史さん、塩谷 善一郎さんを推薦することに同意しました。

議案番号	案 件
議案第42号	公平委員会委員選任についての同意を求めることについて 家路 博史さんを選任することに同意しました。
議案第43号	固定資産評価審査委員会委員選任についての同意を求めることについて 竹野 裕一さん、柿本 香さんを選任することに同意しました。
議案第44号	農業委員会委員任命についての同意を求めることについて 北庄司 博文さん、勝間 富士男さん、石垣 一郎さん、藤原 定嗣さん、赤坂 雄司さん、町谷 敏一さん、家次 幸雄さん、射手矢 豊光さん、南 昇一さん、丹治 正美さん、戸野 武彦さん、南河 武さん、大和屋 君子さん、川野 博信さんを任命することに同意しました。
議案第45号	期末手当の支給割合の特例に関する条例制定について 物価高騰対策として、令和5年6月に支給する期末手当に限り、0.05ヶ月加算するための条例制定議案。
議案第46号	令和5年度泉佐野市一般会計補正予算(第5号) マイナンバーカード新規取得者にさのぼ1万ポイントを付与する事業などの補正予算。
議員発議第6号	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書の提出について

表決が分かれた案件

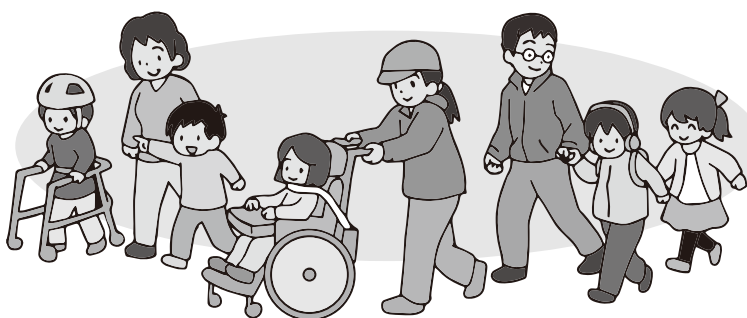
議案番号	案 件	結果
議案第34号	泉佐野市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について 市役所で印鑑登録証明書を申請する際、印鑑登録証の提示以外にマイナンバーカードの提示でも申請を可能とするための条例を一部改正する議案。	可決
議案第35号	泉佐野市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について 消費税法が一部改正されインボイス制度が施行されることに伴い、本市水道事業給水条例を一部改正する議案。	可決
議案第36号	泉佐野市下水道条例の一部を改正する条例制定について 消費税法が一部改正されインボイス制度が施行されることに伴い、本市下水道事業給水条例を一部改正する議案。	可決
議案第40号	令和5年度泉佐野市りんくう公園事業特別会計補正予算(第1号)	可決

意見書・決議

1件の意見書を採択し、関係機関へ送付しました。

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書の提出について

全会一致
送付先 文部科学大臣、財務大臣



議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

議員名 議案名	新緑未来		正道の会	チーム泉佐野創生			大阪維新の会				再生市民の会	自民党		共産党	公明党			
	中藤大助	布田拓也	中村慎作	向江英雄	大和屋貴彦	野口新一	新田輝彦 議長	日根野谷和人	射手矢真之	峰浦修平	中庄谷栄孝	西野辰也 副議長	高橋圭子	高道一郎	岡田昌司	辻中隆	大庭聖一	松村正秀
議案第34号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第35号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第36号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第40号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対

施政方針に対する質問

市長が行う「施政方針演説」に対して質問をします。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて40分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます（ただし、個人質問を行った所属議員の分は除く）。



▲議会中継のQRコード



施政方針に対する質問に関するページの原稿は、本会議での発言を要約し、掲載しています。質問の全内容は、インターネットで泉佐野市議会ホームページの「議会ライブ中継・録画配信」または、「会議録検索」（9月末日配信予定）をご覧ください。

A 粗い試算ですが、一校当たり2億8,650万円となり、13校合計では37億2,450万円となります。自校方式で給食調理室を13校分整備した場合の差額は、17億2,450万円となります。ランニング

Q 従来方針とのランニングコストとイニシャルコストの比較は。
A 出来立ての給食を提供できることや、アレルギー食の対応、食育の大幅な推進、災害時の避難者対応などが考えられます。

Q 自校方式のメリットは何か。
A 小学校給食センターのセンター方式から自校方式及び親子方式への変更とは

Q 泉佐野版の塾代助成制度とは。
A 小学5年生から中学3年生で且つ就学援助の認定基準総所得を生活保護基準の1.5倍までとした約1,200人で、月額5,000円を上限に補助を考えています。

自己実現と社会的自立を図っていくための塾代助成等の習いごと支援とは

チーム泉佐野創生 代表
大和屋 貴彦 議員



・自己実現と社会的自立を図っていく為の塾代助成等の習いごと支援とは
・小学校給食センターのセンター方式から自校方式及び親子方式への変更とは
・利用者のニーズに応じて柔軟に運行するデマンド型乗合交通の導入とは
・「市民防災の日」に市域全体での避難所開設訓練や安否確認訓練等の実施とは
・「井川用水」にかかる遊歩道整備や大木地区や棚田を周遊できる駐車場整備とは
コストは年間2億5,480万円で、従来との差額は1億1,280万円となります。

Q 給食センターの老朽化の状況と小学校用地確保の困難性に鑑み、まずは中学校に自校方式を展開し、中学校と近隣小学校を親子方式で展開することは可能か。

A エネルギーの基準量は小学生が650Kcal、中学生は830Kcalと約30%の差異がありメニューも異なります。中学校で小学校の給食を調理することは少し無理があると思われる。

利用者ニーズに応じて柔軟に運行するデマンド型乗合交通の導入とは

Q 泉佐野版デマンド交通構想は。

A 運用は委託方式とし、車両は6〜7人乗りのワンボックスカー等を想定しております。令和5年度は地域の交通課題や住民ニーズ、解決手段の検討を実施し、令和6年度地域公共交通会議の開催、及び地域公共交通計画の策定を通じて、泉佐野市版デマンド交通の構想を具体化してまいります。

「市民防災の日」に市域全体での避難所開設訓練や安否確認訓練等の実施とは

Q どのような避難所開設訓練か。

A 東日本大震災で実際に避難所運営を行った講師を招き、教えていただいた地域住民や子供らの力を借りながら跳び箱やマット等身近にあるものを使った避難所開設を基本とし、訓練を行っています。

「井川用水」にかかる遊歩道整備や大木地区や棚田を周遊できる駐車場整備とは

Q 井川用水の遊歩道整備とは。

A 日根野土地改良区のご協力を得て、古川橋から榎井川沿いの農地を通って大井堰に向かう範囲につきまして、コンクリート舗装、川側に安全柵を設置し安全に大井堰取水口を見学できるように改修し、また十二谷池最終口につきましては、令和5年度の文化庁の日本遺産観光拠点整備事業で遊歩道整備を実施する予定です。

新緑未来 代表

中藤 大助 議員



ヤングケアラーについて

Q 近年、家庭内で高齢者、親、兄弟姉妹の日々の生活の世話をする若者、いわゆる「ヤングケアラー」の増加が社会問題化しつつあります。令和5年度の「施政方針」の中で、実態把握に努めるとのことですが、その方法と把握後のアフターケアについてお尋ねします。

A 今年度は子どもを対象とした実態調査を実施し、ヤングケアラーの実態把握に努めるとともに、子どもに関わる機関の職員や民生委員児童委員、地区福祉委員会など、地域の方々を対象とした研修会を開催し、ヤングケアラーの概念や早期発見のための着眼点、発見後のつなぎ、配慮する事項など、共通理解を深め、実効性のある支援体制を構築してまいります。また、ヤングケアラーに関する相談窓口の周知を図り、支援につながったヤングケアラーのその後の生活改善までフォローアップできる体制整備を検討してまいります。



子ども子育て支援
生活安全
環境衛生 環境保全

交通安全対策について

Q 自動車による交通事故が後を絶たない昨今、ドライバーに対して、さらなる注意喚起が必要と感じています。特に、住宅地内でのスピードを抑制させる方法の一つとして「ゾーン30」の設置が有効と考えますが、いかがでしょうか。

A 本市のゾーン30の整備状況は、平成30年11月に南中榎井地区の国道26号線から府道と歌山貝塚線の区域20.4ヘクタールと、府道と歌山貝塚線沿いで府道新池田尻線の交差点から長南中学校前を通り、長滝西交差点から長南小学校へ行く府道日根野羽倉崎線の西側までの区域40.6ヘクタールの合計2か所を指定しています。

生活道路における安全対策として、警察と緊密に連携し、地域住民との合意形成を図りながら、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備に今後とも取り組んでまいります。





・地域の強みを生かし、賑わいを創出し、まちを元気にする
・心と豊かに育むまちづくり
・市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり
・すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり
・快適で住みやすいまちづくり

すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり

Q アプリと連動するしくみについて。

A 健康づくりのための健康マイレージ事業において、現在は検診等に応じた点数を紙カードで管理し、1000点集めると窓口でさのぼを付与させていただいています。令和6年1月運用開始を目標に、アプリで点数を管理し、さのぼと交換できる仕組みを検討しています。

Q デジタルに不慣れな方への対応について。

A 事業開始までに操作方法の図解入りマニュアルを作成して配布し、ホームページに掲載する予定です。また、事業開始後は当面の間定期的に操作説明会を開催し、不慣れな方も操作に慣れ、今後のデジタル化の流れに乗っていただけるようご支援させていただきたいと考えています。

Q マップと連動させて写真の投稿やコメントなど書き込みが出来るようなシステムはあるのか。

A 今回のアプリは健康関連アプリで、どのような機能を持たせるかは今後検討してまいります。市民の皆様が手軽に楽しく健康づくりを継続できる機能を取り入れたいと検討しています。

Q 歩数がランキング化され、個人だけでなく地域との繋がりでモチベーションアップに繋がる取り組みはあるのか。

A 歩数のランキング化は導入を予定しています。性別や年代別のランキングのほか、参加者や友達で作成されたグループのランキングなど、地域や人のつながりが感じられ、モチベーションが上がるアプリにしたいと考えています。



地域の強みを生かした賑わいを創出し、すこやかで住みやすいまちづくり

Q 気運を高める取り組みについて。

A 2025年の大阪・関西万博の機運を高めるため、市有施設で

のほりの設置や、ポスターの掲示、泉佐野駅前とりんくうタウン駅ビル内でのデジタルサイネージの放映などで周知しています。本市がセカンドパビリオンとなり地域経済の活性化につながるよう取り組んでまいります。

Q 長者バルのようなグルメリメを盛り上げる取り組みについて。

A 長者バルは、泉佐野シテイプロモーション推進協議会の独自事業であり、今後再開に向けて検討していると聞いております。現在、本市が実施しているフードツーリズム事業では、国内外の旅行者や近隣を対象に、本市の食をPRして誘客に努めてまいります。



人を豊かに育むまちづくり

Q 子育て拠点の取り組みについて。

A 本市では既に二か所、地域子育て支援センターを設置していますが、今後の取り組みとして、中学校区内に一か所の地域子育て支援拠

点を整備していきたいと考えています。

Q マイノートの活用について。

A 本市ではマイノートの計画的な活用を促して、自律できる力や主体性を向上できるように導いていきたいと考えています。

Q 未利用食材の取り扱いについて。

A 台風などで学校が臨時休校になった場合の給食調理食材については、基本的に翌日のメニューを変えて使用しています。

Q 給食時子ども達の様子について。

A 現在黙食は行われず、座席は前を向いた状態が多いようです。食品ロス削減に向けた取り組みについて。

A 食育を進めるとともに学校と協力し、残菜率を下げる努力を続け、出来るだけ食品の廃棄が起らないようにします。



公明党
泉佐野市会議員団 代表
辻中 隆 議員



- ・学校教育について
- ・子ども子育てについて
- ・高齢者福祉について
- ・障がい者福祉について
- ・防災について
- ・環境衛生・環境保全について
- ・道路交通について
- ・住宅について
- ・地方独立法人化した市役所の体制について

防災無線について

Q 府営見出住宅の自治会役員の方からのご相談で、自治会が修理費用の支援について府や市に相談したところ、いずれも助成は難しいとの返答でした。災害時の緊急放送等、地域の防災活動に十分活用できるものであることから、どのような支援が考えられますか。

A 今回の住宅内放送設備の修理について、自主防災活動のための施設という位置づけであれば、「自主防災組織育成事業補助金」の活用が可能です。

そして、今年度から市が指定する指定避難所とは別に、自主防災組織が自主的に開設・運営する町会館等を届出避難所として届け出を行い、市が認定すれば、最大35万円まで支援できる制度も新たに創設しています。

道路交通について

Q 約100世帯の方がお住いの日根野5700番地について、地域の方から、この地域は道を挟んで

熊取町はコミュニティバスが運行しているが、泉佐野市は運行していないのでとても困っているとのことでした。支援策が必要と思いますが、どのような支援が可能ですか。

A コミュニティバスの運行の不便な部分を補完する手段として、デマンド交通の導入を検討しているところです。デマンド交通は、運行ルートや運行ダイヤなど、設定の自由度が高い交通手段とされており、他市では乗合タクシーという形態で運行され、有料ですが、予約をすればご利用になりたい区間と時間にお乗りいただけるというものです。

泉佐野市に最適で持続可能な交通システムをめざし、令和5年度から住民アンケートによる調査などを行い、早期運行を目標に取り組んでまいります。

コミュニティバスの利用が困難な地区については、優先的に導入を検討してまいります。



ヘルメットの助成について

Q 令和5年4月1日の施行以来、街中でもヘルメットを被っておられる方をよく見ます。

市として市民の安心安全の意味でも、ヘルメットの助成を要望します。今までの助成の経過も含めて答弁願います。

A 自転車用ヘルメットについては、平成27年度から令和2年度まで65歳以上の方に、高齢者対象の自転車安全講習会を開催し、参加者にヘルメットを配布しておりましたが、新型コロナウイルスの影響などで受講者が減少したため、令和3年度から、「子ども自転車ヘルメット助成事業」として、交通事故の防止と交通事故による被害の軽減を目的に、13歳未満の幼児・児童用自転車ヘルメットの購入助成を実施しており、ヘルメット購入額の半額を3000円を上限として、地域ポイント

の範囲で助成しています。65歳以上の方についても助成を検討したいと考えています。



自由民主党
泉佐野市会議員団 代表
高橋 圭子 議員



送迎保育ステーション事業について

Q 今年度より開始の送迎保育ステーション事業について教えてください。

A 近隣に入園可能な認定こども園や保育園等が見つからない子どもに対し、自宅から遠距離にある園への通園を可能にするため、駅前などの利便性の高い場所に送迎保育ステーションを設置し、郊外の園への送迎、それに伴う保育活動を行う事業です。

Q 本市で実施する場合、何歳児を対象と想定していますか。またこの事業は、待機児童解消にもつながるのでしょうか。

A バス移動の子どもの負担を考えると、3歳以上が望ましいと考えています。

送迎に要する時間や距離等の関係で、これまで入園を希望することができなかった園への入園が可能となり、また、空き定員のある園は園児の確保が可能となるため、待機児童解消に大きく貢献することが期待されます。

・観光にこぼれ
・子育てにこぼれ

養育費受け取り支援制度について

Qひとり親家庭の困窮を招く要因として、離婚相手と養育費の取り決めがないことや、養育費の不払いが挙げられます。本市が始める支援制度について伺います。

A公正証書等作成費用の補助と養育費保証契約における保証料の補助の2つの制度の導入を予定しています。

Q養育費保証契約における保証料の補助制度をご説明ください。

A養育費保証契約は、民間の保証会社にお申込みいただくもので、離婚時に取り決めをしていた養育費の不払いが発生した場合に保証会社が養育費を立て替えて支払うことになり、保証会社は立て替えた養育費を元配偶者から回収する仕組みです。

本制度は保証会社と養育費保証契約を締結する際に必要な経費のうち、保証料として本人が負担する費用の一部を補助するものです。



岡田 昭司 議員
・学校教育にこぼれ
・住居にこぼれ



「小中学校へボトル給水型冷水器の設置について」

Q各小中学校に設置する台数、場所、予算及び設置時期について問う。

A本年6月の補正予算で計上し、各中学校に3台ずつ設置したいと考えています。小学校については、設置場所、設置台数等を学校と協議の上、来年度当初予算に計上し、設置したいと考えています。

「市営住宅について」

Q市営住宅駐車場使用料の減免ができないか。大阪市や近隣自治体の減現金額や減免割合を問う。

A大阪市が行う身体障害者の方などの減現金額や減免割合を問う。料の減免及び徴収猶予は、現在、本市では適用していません。

近隣自治体では貝塚市、泉南市、岬町で減免制度が導入され、減免対象となる資格条件などにより異なる場合もあります。泉南市では駐車場使用料金の50%減免、岬町では全額免除となっていますので、参考に研究してまいります。

高道 一郎 議員
・小学校給食にこぼれ
・コミュニティバスの運営改善にこぼれ



小学校給食について

Q2023年度当初予算でセンター方式としていたが、わずか3ヵ月後の今議会会で自校方式へと大転換した。協議経過を説明せよ。

A農林水産省の食育関連予算の増加や、「地域での食育推進」事業の補助金メニューが公表されていること、岸田内閣の異次元の子育て政策など国に大きな動きが出ており、出来たての給食の提供や、一部のアレルギー食の対応、災害時の避難者への食事の対応などのメリット面を重視し、再検討を行ったものです。

Q共産党は一貫して自校方式を主張してきた。自校方式でこそ「教育の一環」の役割が果たせる。十三校の事業費総額、事業年度は？

A建設費と調理設備費を合わせ、37億2,450万円、今後毎年発生する調理委託料は、年間2億5,480万円と試算します。事業年度は、令和6年度に1校目の実施設計を行い、令和7年度に建築工事を実施する行程です。



中庄谷 栄孝 議員
・ひとを豊かに育むまちづくり



塾代助成等の支援について

Q私の公約でもある塾代助成等の支援について、施政方針への明記ありがとうございます。一人あたり5千円の助成対象になるには、総収入が生活保護世帯の1.5倍以下の所得制限とのことですが、対象学年の何%ぐらいになりますか。

A塾代助成等の習い事支援の対象者は、小学5年生から中学3年生までで、かつ就学援助の認定基準総所得を生活保護基準の1.5倍までとした約1,200人、月額5,000円を上限に考えています。小学5年生から中学3年生までの児童・生徒数は全体で3,750人です。対象者の1,200人で割りますと、約32%となります。



中村 慎作 議員

地域防災対策における旧26号線より浜側など旧市街について
 小中35人学級及び支援学級生徒数を含む市独自の学級編成について
 日本遺産の文化財保護及び担い手補助について



防災施策における旧市街などの災害発生直後の緊急救護について

Q 高齢化で町会や地域防災力が不足。地域外からの応援の仕組みを。

A 青年団や地元企業、各種ボランティアなど、多様な団体の協力が必要と考えられ、官民を問わず、多様な団体と連携を図ります。

日本遺産文化財と担い手保護を

Q 佐野川新川家史跡・文化財と市の政策との連携、相乗効果を。

A 歴史文化資源の調査研究・保存・継承に関する措置として、文化財価値の評価を行い、指定等に向けた調査を進めています。今後は、日本遺産や熊野街道との連携や活用、あるいは文化財指定等の検討も含めて考えてまいります。

Q 棚田や史跡を守る土丸、大木地区後継者の通勤通学交通の整備を。

A 令和5年度に住民アンケートによる需要調査や課題整理、解決策の検討業務を実施し、令和6年度に地域公共交通会議の開催、および地域公共交通計画の策定を行ってまいります。

継続審査

各定例会（臨時会）は、それぞれが独立したものと考えられているため、定例会（臨時会）中に提案された案件について、その会期中に結論が出なかった場合は、次の定例会に引き継がれることはなく、審議未了、廃案となり消滅してしまいますが、これは会期不継続の原則といえます。

しかし、案件によっては、その会期中に結論を出すことができない場合もあるため、会期不継続の原則の例外として、議会の議決によって、閉会中や次の定例会でも引き続き審査する場合があります。

豆知識



市議会を傍聴しませんか

◆9月定例会の日程表◆

- 9月4日(月) 本会議（議案説明）
- 9月5日(火) 総務産業委員会
- 9月6日(水) 厚生文教委員会
- 9月12日(火) 決算特別委員会
- 9月13日(水) 決算特別委員会
- 9月14日(木) 決算特別委員会
- 9月19日(火) りんくう総合医療センター対策委員会
- 9月20日(水) 行財政委員会
- 9月25日(月) 本会議（一般質問）
- 9月26日(火) 本会議（一般質問）
- 9月27日(水) 本会議

※本会議及び委員会の傍聴につきましては、新型コロナウイルスの感染対策のため、状況により傍聴中止や席の間隔をあけていただくなどのご協力をお願いすることがあります。市議会のホームページをご覧ください。
 ※午前10時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。
 ※手話通訳をご希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。

表紙の写真



ヒトツナギ代表 渡辺葉一氏を講師に迎え、「地域をブランド化させる『人とまち』のファンづくり」～クラウドファンディング・コミュニティ・空き家活用が生み出す価値～をテーマにご講演いただきました。

市議会だより編集委員

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|------|---|
| 辻 | 西 | 向 | 布 | 高 | 副委員長 | 峰 |
| 中 | 野 | 江 | 田 | 道 | 委員長 | 浦 |
| 隆 | 辰 | 英 | 拓 | 一 | | 修 |
| | 也 | 雄 | 也 | 郎 | | 平 |